

令和2年度 学校評価 集計結果

令和2年度 学校評価 アンケートの概要

1. 実施期間 教員：令和2年11月（自己評価）、回答52人
保護者：令和2年11月中旬 用紙配付
生徒：令和2年11月 HRにて実施

2. 回答数

	保護者	生徒
1年生(47期生)	222人	278人
2年生(46期生)	174人	272人
3年生(45期生)	205人	300人
合計	601人	850人

3. 質問項目 大阪府教育委員会指定の必須項目を含めて実施

1. 自己評価(教員アンケート)の集計結果

(1) 分析の概要 いくつかの質問において、数値が前年比で大きく上昇、下降した。

1. 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。(昨年度84.4% → 今年度78.8%)
2. 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。(93.8% → 78.4%)
3. 授業において、指導方法の工夫・改善に努めている。(91.7% → 100%)
4. 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。(80.0% → 82.7%)
5. 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。(79.4% → 88.0%)
6. 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。(80.0% → 90.0%)
7. 学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。(70.3% → 66.7%)
8. 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。(88.6% → 82.0%)
9. 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。(90.9% → 70.6%)
10. いじめ(疑いを含めて)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。(93.9% → 88.2%)

* 質問3、5、6の上昇と質問2、9の下降が目立つ。質問3についてはパッケージ研修を含めた校内研修の実施とそれを実践して生かしていく体制が校内に定着してきていることを示していると思われる。また、質問6については新型コロナの影響の中、限られた条件にどのように対応するかを検討してきた姿勢が評価されたものと思われる。質問2、9の減少については校内で分析の必要がある。

2. 保護者アンケートの集計結果

・保護者アンケートについては全体的には前年比で大きな数値の変動は見られなかった。全体の数値の平均は昨年度とほぼプラスマイナス0であった。

(1)分析の概要 質問のうち3項目で数値が前年比で5ポイント程度上昇した。

1. 子どもは学校に通うのが楽しいと言っている。(昨年度 83.8% → 今年度85.0%)
2. 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。(61.6% → 63.2%)
3. 学校の生徒指導の方針に共感できる。(78.5% → 79.1%)
4. 学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。(81.5% → 78.7%)
5. 学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。(86.4% → 81.1%)
6. この学校の部活動は活発である。(85.6% → 89.4%)
7. 学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。(87.6% → 87.6%)
8. 先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。(78.5% → 80.6%)
9. この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。(72.2% → 64.7%)
10. 学校は教育情報について、文書、ホームページ、メルマガ等を通じて提供の努力をしている。(85.2% → 85.7%)
11. 学校はいじめなど子供が困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(82.5% → 81.3%)

*全体としてほぼ横ばいの数値で大きな変動は比較的少ない。質問9については、新型コロナの影響が大きく出ている数字であると考えられる。また、質問1, 2, 8に関して少しでも数字が上昇したことは喜ばしいことであり、それを継続させるような体制の維持と新たな取り組みの2本立てで臨むことが必要であろう。

3. 生徒アンケートの集計結果

(1)生徒アンケート 分析の概要 いくつかの質問で大幅な数値の下降が見られたことは今後の課題であろう。

1. 学校に行くのが楽しい。(昨年度 80.6% → 今年度 78.5%)
2. この学校には他の学校にはない特色がある。(59.3% → 59.9%)
3. 授業が楽しくわかりやすい。(51.5% → 54.5%)
4. 教材や教え方に ICT(パソコンやプロジェクター等)も含めて、様々な工夫をしている先生が多い。(87.0% → 89.1%)
5. 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。(55.8% → 63.6%)
6. 復習などを中心とした宿題の量は適切である。(73.1% → 73.1%)
7. 理解度に応じて補習や講習が行われている。(65.1% → 54.3%)
8. 学校生活についての先生の指導は納得できる。(53.2% → 57.1%)
9. 将来を考えると、校則はほぼ適切だと思う。(60.7% → 56.3%)
10. 先生は、いじめなど生徒が困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(75.3% → 80.4%)
14. 将来の進路や生き方について考える機会がある。(92.0% → 88.5%)
15. 将来の進路はだいたい決めている。(69.3% → 65.2%)
16. 自分の将来の進路決定に際して、本校の専門コースが役立っていると思う。(67.8% → 67.6%)
17. 進路説明会、大学見学、企業見学など進路選択に関して学ぶ機会がある。(82.9% → 72.9%)
18. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。(85.5% → 81.2%)

- 19. 学校全体として、部活動は活発だと思う。(86.8% → 90.9%)
- 20 体育祭・文化祭など学校行事は楽しく行えるよう工夫されている。(82.8% → 85.7%)
- 21. 自習室、図書室等の開室がされていて、学習する環境が整っている。(88.2% → 92.1%)
- 22. 学校は、清掃活動が行き届いていて清潔である。(48.3% → 48.9%)

*全体として数値が下降しているのは質問7、17で、いずれも進路関連の項目であった。新型コロナの影響で大学見学会などが中止された影響も大きかったと思われる。講習の減少については、学校全体で確認と検証が必要であろう。それ以外の項目については、授業や学習に関わる質問4、5の数値や、教師の対応に関わる問8、10のような数値が上昇しているのは喜ばしいことである。

4. 自由記述部分について

保護者、生徒、教員からは自由記述による意見も多数寄せられた。すべての意見について、次年度以降に役立てられるように、職員会議で共有した。